

3月27日(水) スケッチの会

「懐かしの慶應三田キャンパス」

晴天に恵まれ、桜も咲き始めた三田キャンパスで、10時から第182回例会を実施しました。今回は、新会員1名、友好クラブの町田三田会美術部からゲスト2名を含む10名の参加でした。

作品披露会では、油彩でスケッチしたゲストの説明に、水彩との違いに驚かされました。例えば、水彩画は途中でやり直しがきかないので、まず正確なデッサンに時間をかけ、着色は鮮やかな薄い色から始めて強い影へと重ね塗ります。彼女の油絵は逆です。簡単にデッサンしてから強い色で下地を塗り、その後上塗りを25回位やる中で形を整え、反射のハイライト(水彩では紙の白さを残す)を入れて完成させるとのことでした。

昼食会はファカルティークラブで、新しいメンバーを迎え、また町田三田会員との交流で話が広がりました。

次回例会([PDF](#))は、4月20日(土)に「皇居」を予定しています。

当会は地域三田会唯一のスケッチの会として、区外からも会員を募集しています。お試し体験会だけでなく、ゲストも歓迎していますので気楽にご参加下さい。

世話人 三宅正彦

